



TRUMPF



TRUMPF

行動規範





トルンプにおいて法令遵守とは 私たち全員が日々担うものです。

ニコラ・ライビンガー＝カミュラー

はじめに

トルンプ従業員の皆さん、

コンプライアンスとは「法令遵守」を意味する言葉で、私たちは皆「法令を遵守する」社会的責任を担っています。

コンプライアンスは従業員、経営陣、取引先など企業活動に参画する私たち全員に関わることで、皆さん一人ひとりの日々の業務における行動が会社に大きな影響を及ぼします。そこで、トルンプグループ取締役会は行動規範を定め、ビジネスにおいて常に倫理的に「正しい行動」を実践するための基本ルールをまとめました。行動規範の制定は日常の業務を遂行する上で、そして特に危機的状況における際の指針となることが目的です。

トルンプグループ取締役会、また家族経営企業として私たちは、従業員の皆さんがルールを守るだけでなく、疑問や懸念などについても自由に声をあげることが出来る企業文化を創り出したいと考えています。全ての従業員がこの行動規範とTRUMPFの価値観に沿って行動しなくてはなりません。

TRUMPFにおいてコンプライアンスは単なる流行語ではなく、私たち一人ひとりが日々背負う責任です。トルンプグループ取締役会は、自らがTRUMPFの価値観に基づいて行動するのは勿論のこと、全ての従業員も同じであるよう最善を尽くします。

皆さんのご理解、ご協力に感謝いたします。

ニコラ・ライビンガー＝カミュラー
取締役会会長



トルンプ従業員の皆さん

コンプライアンスは、行動への問いかけです。

トルンプの行動規範と当社の価値は、コンプライアンスに対する私たちの共通意識を形作る基盤です。これらは私たちの日常業務の文化を形成し、私たちの姿勢を表現するものです。

自分の行動が誠実であるかどうか不確かな場合は、これらの原則を参考にし、自分の直観に耳を傾けてください。なぜなら自分の直観に従って行動する人は、すべてを正しく行っていることがほとんどです。自分を信じてください。

これに関して、トルンプのマネージャーたちが模範となる行動を示すことも重要です。特にマネージャーやチームリーダーの皆さんは、コンプライアンスに関しては明確な方針に従い、行動規範とトルンプの価値観が実践されるようにしなければなりません。

持続可能なコンプライアンス文化は、トルンプの共通の目標です。これは規則違反に対する最善の予防策であり、私たちが長期的に成功することを保証するものだからです。

私たちは共に、コンプライアンスを日常業務の基本原則として、トルンプの企業文化にしっかりと根付かせることができます。その姿勢を示しましょう。

なぜなら、トルンプはコンプライアンスを遵守し、全員がそれに関与しているからです。

皆さんのご理解、ご協力に感謝いたします。

クリスチャン・グレーガー

チーフコンプライアンス・オフィサー&顧問弁護士

目次

01



行動規範とは

なぜ、行動規範があるのでしょうか？ 09

行動規範は誰に適用されるのでしょうか？ 09

02



基本ルール

基本ルール：
法令を遵守する。 12

社会ルールの遵守：
社会責任を担う。 13

職場における心構え：
常に誠実に行動する。 16

03



行動規範の遵守

**違反はどのように報告すれば
よいですか？** 32

**報告があったらどうなるのでし
ょうか？** 34

ガイダンス 35



01

行動規範とは

なぜ、行動規範があるのでしょうか？

行動規範はTRUMPF従業員一人ひとりが「正しい行動」を実践するための指針です。ですから日常業務を遂行するための最も重要な基本ルールが定められています。基本ルールに従うことにより、TRUMPF全従業員は確実に、倫理的かつ責任ある行動をとることが出来るのです。

行動規範は誰に適用されるのでしょうか？

職務や所属組織に拘わらず、世界中の全てのTRUMPF従業員はこの行動規範を遵守しなければなりません。さらに経営陣は、従業員が正しい判断を下し合法的に行動できるよう、指導及び支援をしなければなりません。



02

基本ルール

基本ルール:

法令を遵守する。 12

社会ルールの遵守:

社会責任を担う。

人権 13

地球環境保全 14

寄付とスポンサーシップ 15

職場における心構え:

常に誠実に行動する。

汚職防止 16

贈答品、招待、その他の便宜 17

利害衝突の回避 18

公正な競争 19

正しい記録の維持 20

税 関税規則 21

貿易法および輸出規制 22

マネーロンダリングおよびテロ資金供与の禁止 23

労働安全 24

製品コンプライアンス 25

個人情報保護 26

機密情報保護 27

サイバーセキュリティ 28

会社資産 29

基本ルール： 法令を遵守する。

違法行為はTRUMPFに不利益をもたらします。なぜなら、違法行為自体が倫理に反し会社の評判を損ない、更には会社が法的処罰の対象となる可能性もあるからです。

基本ルール

従業員がそれぞれの所属組織がある国の法令・諸規則を遵守することは、TRUMPFの基本的価値観に合致します。違法行為をすることにより、自分自身が刑事責任を問われる可能性があることを認識して下さい。法令遵守は自分の身を守るためでもあります。

私たちの取るべき行動

- 自分の業務範囲に適用される法令・諸規則等に精通し遵守します。
- 不明点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者かTRUMPF組織内の担当部署に相談します。



例

取引先から高価なクリスマスプレゼントが届きました。

なぜこれが問題かという、贈収賄行為の可能性があるので。贈答品が業務上の意思決定に不適切な影響を与えないと考えられる場合でも、贈答品はガイドラインで定められた金額を超えてはなりません。迷った場合は贈り物を受け取らないでください。例えば礼を欠く、お金がかかるなど受け取らないことが不可能な場合は、上司に相談して下さい。ここで最も優先されるべきことは透明性です。

社会ルールの遵守： 社会責任を担う。

人権

国連の世界人権宣言は、人権の尊重と遵守に関して国際社会が求める原則と基準を定めています。

基本ルール

人権擁護のために制定された世界共通のルールを尊重、遵守、推進します。それに加えて、TRUMPFにとって特に重要な権利は以下の通りです。

- 機会均等の徹底と差別の禁止
- あらゆる形態の児童労働及び強制労働の禁止
- 表現の自由と知る権利、及び労働組合等の団体を結成し加入する権利
- 安全衛生と労働基準および社会基準の権利

これは、TRUMPF従業員だけではなく取引先にも適用されます。

私たちの取るべき行動

- 機会均等の徹底と差別禁止の原則を尊重します。性別、肌の色、国籍、政治的見解、人種、宗教、年齢、性的指向、その他いかなる理由による差別も行わず、容認しません。
- 職場で人権侵害が発生したと考えられる場合には、そうした行為が止められ、また防止されるよう努めます。そして、必要に応じてコンプライアンスチームに報告します。

例

あなたは購買担当で、あるサブサプライヤーが児童労働の容認されているコンゴ鉱山からの金を使っていると思われる事態になりました。

なぜ、これが問題なのでしょう？

このような状況はTRUMPFの価値観と相反します。そのサブサプライヤーとの取引関係は見直されなければならず、必要に応じて対策を講じなければなりません。

社会ルールの遵守： 社会責任を担う。

地球環境保全

TRUMPFは次世代への責任として、エネルギーや天然資源を持続可能な形で利用し、地球環境への悪影響を可能な限り回避することを第一の目標として掲げます。

基本ルール

TRUMPFは、「板金加工機」「レーザ技術」分野におけるグローバル・リーディングカンパニーです。私たちは製品やプロセスにおいて高い水準を誇るのと同様に、利用するエネルギーや資源に関しても高い関心を持ちます。TRUMPFが環境保全に対する意欲的な目標を打ち立て、それにより気候変動に関する国際的な枠組みを支持するのは、そうした理由からです。目標を達成するために資源消費量を長期的に削減し、効率の良い技術を創造し活用することが非常に重要です。人間の産業活動による環境への影響を最小限に留めなければなりません。

私たちの取るべき行動

- 日常業務で省エネを心掛け、持続可能な社会の実現に貢献します。
- 日常業務で可能な限り環境に配慮します。

職場でどのようにしたら更に資源の消費を減らすことが出来るか考えてみましょう。

アイデアがあったら上司やTRUMPF組織内の担当部署に伝えて下さい。



社会ルールの遵守： 社会責任を担う。

寄付とスポンサーシップ

TRUMPFは長期的な戦略をもち責任ある行動をとる家族経営企業です。この信念に基づき私たちは人々の生活や社会全体の役に立つことを明確な目的として、自発的で見返りを求めない寄付をします。また、企業目標を達成する為に必要な広告や広報活動を目的として、合意に基づいた契約を結びスポンサーシップや献金を行います。

基本ルール

寄付やスポンサー契約は法令に従う形でのみ行われ、寄付やスポンサー契約の検討、寄付の受取人やスポンサー先の選定等一連の手続きにおいて、またそれに関わる全ての関係者が法令遵守することを求められます。それにより、企業戦略に一貫性をもたせTRUMPFは社会で信頼される企業であり続けられるのです。

私たちの取るべき行動

- 寄付やスポンサー契約を行うにあたり適用される規定を遵守します。
- 不明点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者かTRUMPF組織内の担当部署に相談します。

例

ある美術館の資金調達係に春の展覧会への協賛を依頼されました、或いはお客さまからその企業のスポーツクラブへの寄付を依頼されました。

このような場合は、まずTRUMPF組織内の寄付やスポンサーシップを専門に扱う担当部署に相談し、依頼を受けて良いのか、どのような形であれば良いのか等を明確にしておかなければ、TRUMPF社内規程や法令にそぐわない可能性がでてきます。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

汚職防止

汚職とは、個人的な利益を得るために信頼されている地位を悪用することです。主観的な理由に基づく決断につながり、競争を歪曲し、結果として社会に悪影響を及ぼします。したがって、汚職は容認できません。

基本ルール

汚職を拒絶します。取引先に不当な利益を供与したり、また取引先から不当な利益を受け入れません。汚職の疑いを受けないため、行動を常に透明に保ちます。

私たちの取るべき行動

- 贈収、贈賄を行いません。
- 不明点がある場合、上司または現地法人のコンプライアンス担当者かコンプライアンス チームに問い合わせます。
- 汚職を確認したら速やかに報告します。



例

営業部門にて販売代理店を採用することになった際、代理店が販売手数料の契約書は取り交わさない方がフレキシブルでいいと提案しました。

この提案を了承することは正しくありません。販売代理店やアドバイザーへの手数料および報酬の支払いには書面による合意が必要です。また、認められた範囲内で実際に行われたサービスに対してのみ支払い可能で、そのサービスに見合うものでなければなりません。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

贈答品、招待、その他の便宜

お客さま、取引先、公務員等との贈答品、招待、その他便宜の提供や受領は禁止されています。ただし、取引先への通常の礼儀、おもてなし、また感謝の気持ちの表現は認められています。高価な寄付贈与や秘密裏での授受は基本的に疑わしく、検察庁が捜査に出ることがあります。

基本ルール

贈答品、招待状、その他の便宜は一般的に認められた倫理基準の範囲内では認められますが、不正な見返りのためと解釈されるような方法は決して認められません。公務員との関わりは特に気を付ける必要がありますので、ガイドラインを遵守して下さい。

私たちの取るべき行動

- ガイドラインよく理解し、厳守します。
- 受取人や差出人が公務員かどうかを確認します。
- 不明点がある場合、上司または現地法人のコンプライアンス担当者かコンプライアンスチームに問い合わせます。

例

あなたはTRUMPFの購買担当です。サプライヤーから、週末ホテルで開催される商談会に招待されました。土曜日には長時間のレジャープログラムが用意されていて、日曜日の出発前最後の1時間のみ商談会となっていたとします。

なぜ、これが問題なのでしょう？

バイヤーとサプライヤーの商談会はよく行われることですが、このスケジュール案では、充実したレジャープログラムとホテル滞在に重点がおかれており、ビジネス関連のプログラムはほとんどありません。これでは贈収賄の疑いを生みかねませんので、この招待はお断りして下さい。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

利害衝突の回避

TRUMPF従業員の個人的な利益とTRUMPF社の利益が相反する場合、または相反する可能性がある場合、潜在的な利害の衝突が存在します。利害の衝突は、特にTRUMPF従業員の副業や、TRUMPF従業員と取引先との個人的な関係から発生することがあります。

基本ルール

業務と個人の利益をはっきりと分け、TRUMPFでの仕事を個人的利益のために利用しません。

私たちの取るべき行動

- 利害の衝突がありそうに見える場合も避けます。実際に利害の衝突があったりありそうに見える場合、上司に相談します。
- 私的目的のためにTRUMPFの取引先に依頼することはありません。
- 個人的な利害関係で取引先を選びません。
- 副業を始める前、また競合企業、お客さまやサプライヤーの株式購入前に上司とHRの許可を得ます。
- 不明点がある場合、上司または現地法人のコンプライアンス担当者かコンプライアンス チームに問い合わせます。



例

仕事の一環として、複数のサプライヤーからの見積書を確認します。最良の見積りは親しい友人の会社からであることがわかりました。

なぜ、これが問題となるのでしょうか？

ここには私的な利益をTRUMPF社の利益より優先させてしまうリスクがあります。ビジネスとプライベートの利益はしっかりと分ける必要があります。上司に状況を報告し、自分が意思決定プロセスから退くことにより利害対立の可能性を回避できます。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

公正な競争

公正で自由な競争は独占禁止法で保護されており、不当に競争が規制されたり市場での競争が歪められないようにしたりするものです。特に禁止されているのは価格や条件の取り決め、市場、お客さまや地域の分割、また事業戦略の調整などです。確実な取り決めはもちろんのこと、行動を調整することも認められていません。これらの禁止事項に違反すると、公正取引委員会から徹底した追及を受け、厳しい罰金や処罰を課される可能性があります。

基本ルール

競合企業と競争行動に関する調整を行わず、自由な競争に基づいてのみ事業を行います。競争の保護に関する法律を遵守します。

私たちの取るべき行動

競合企業とは以下のことについて絶対に相談しません：

- 価格やその他の条件
- 市場、お客さま、地域区分
- 入札への参加の如何

不明点がある場合、上司または現地法人のコンプライアンス担当者かコンプライアンス チームに問い合わせます。

例

見本市で競合企業の社員と話をすることになったとします。相手は価格情報を引き出そうとします。

なぜ、これが問題となるのでしょうか？

このような会話は独占禁止法の違反で、あなた自身またはTRUMPFに重大な結果をもたらす可能性があります。これについては話ができないことを話し相手に即座にはっきりと伝えて下さい。話を打ち切って報告書を作成し、コンプライアンスチームに報告して下さい。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

正しい記録の維持

業務上扱う情報は正確に記録されるべきものです。正確な記録は戦略開発、事業予測などの内部目的に加え、計画、経営、財務管理にも役立ちます。また、正しい報告書は政府機関、一般社会、取引先との信頼関係を確立し維持します。したがって、正しく記録を残すことは法取引上、また税の観点からも必要不可欠です。

基本ルール

帳簿と記録は事実に基づき、また法的枠組みに合うように確実に適時に付けます。私たちは事実を正確に記録し、私情を交えません。



私たちの取るべき行動

- すべてのビジネス上の出来事を正しく確実に、そして速やかに記録します。
- 虚偽記録はしません。
- 記録を操作したり情報を省略したりして、ある出来事が異なって見えるようにすることはしません。
- 私は労働時間を正しく記録し、個人情報を更新します。
- 不明点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者がTRUMPF組織内の担当部署に相談します。

例

受注したマシンの請求書はすでにお客さまに提出済みで、12月20日の記帳です。ところが、このマシン購入のための補助金を受けられるよう、最初の請求書を取り消し1月24日付の新しい請求書を発行してほしいと言われました。

そのような行動は思いとどまって下さい。
記録が事実と異なると重大な結果を招くことがあります。この例では犯罪につながることもさえあります。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

税 関税規則

税金は国家機能に重要な寄与をしています。税金に関しては法人税、所得税、付加価値税に対する規制があり、税関の規制には商品輸入の際に支払う関税があります。税金や関税に関する規定を遵守することは、取引先、税務当局、また一般社会への信頼につながります。これらの規定が遵守されているかどうかは、当局による定期的な監査の対象になります。違反がある場合、重い制裁があります。

基本ルール

税金および関税に関する現行規制を遵守します。そのためには、納付すべき税金や関税の申告書を正確かつ期限内に提出し、支払うべき税金や関税を適切に納付しなくてはなりません。

私たちの取るべき行動

- 違反があったと思われる場合や、不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。

例

マシンを自ら輸入しているお客さまから、輸入に際して、実際の請求額より低い金額の請求書を発行してほしいと依頼がありました。そのお客さまは、もっと低い価格でマシンを輸入したと主張しています。

それは、お客様の脱税を幫助していることになります。TRUMPFは、契約で合意した金額よりも低い金額の請求書を発行できないことを、お客さまにはっきりと伝えて下さい。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

貿易法および輸出規制

TRUMPFのような世界で活躍する企業にとって、貿易規定の遵守は非常に重要なことです。商品、技術、ソフトウェアなどを輸出する際、貿易法を遵守しなければなりません。認可が必要か、また輸出禁止の対象かは、何を、どこに、誰に輸出するのか、そしてその商品が何に使われるのかによって大きく異なります。そのため、既存の禁輸措置、制裁リストや二重用途商品の最終用途をTRUMPFは常にチェックします。

基本ルール

国際取引に適用されるすべての規則を遵守します。特に、既存の輸出入規則を遵守し、必要な認可を得ることが重要です。



私たちの取るべき行動

- 違反があったと思われる場合や、不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。

例

レーザー製品の輸出の問い合わせがありましたが、あなたの知る限りその国は禁輸措置の対象です。

貿易法および輸出管理担当のTRUMPF組織内の担当部署に相談し、対象国にどのような輸出規制があるかを確かめて下さい。担当者を確認するまでは、この国への輸出を義務付けるような契約を締結しないで下さい。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

マネーロンダリングおよびテロ資金供与の禁止

世界のほとんどの国に、マネーロンダリングやテロリストへの資金供与に関する法律があります。マネーロンダリングとは、違法に入手した資金の出所を隠蔽し、合法的な金融・経済システムに流入させることを目的とした取引のことです。例えば、賄賂の支払いに関連して、違法な資金が発生します。テロリストへの資金供与とは、テロリストやテロ組織に、テロ活動を行う目的で、資金やその他の合法的な資産を提供することをいいます。マネーロンダリングもテロリストへの資金供与も、厳しい処罰の対象となります。

基本ルール

法律や規則を遵守します。私たちの目標は、同じようにマネーロンダリング防止やテロ対策規制を遵守する信頼できるパートナーとのみ取引関係を維持することです。

私たちの取るべき行動

- 基準となるガイドラインをよく理解し、厳守します。
- マネーロンダリングやテロ資金供与の疑いがある場合、直ちに取引を中止し、上司、現地法人のコンプライアンス担当者またはコンプライアンスチームに連絡します。

例

ハンガリーが本拠のサプライヤーから、ベルギーにある口座への支払い依頼がありました。

なぜ、これが問題なのでしょう？

この要求に応じると、TRUMPFは脱税を幫助したり、不正に取得した資金の出所隠蔽に負担してしまうかもしれません。このような依頼はさらに明確な説明が必要です。そのまま応じずに、なぜハンガリーの口座への送金を希望しないのか、サプライヤーに尋ねてください。コンプライアンスチームとどうすればいいか相談してください。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

労働安全

全従業員の身体的安全は最優先するだけでなく、労働安全は生産性や品質に、そしてTRUMPFの対外イメージとお客さまへの信頼にも重要な影響を及ぼします。労働災害の原因の多くはヒューマンエラーです。したがって、従業員一人ひとりが労働安全と事故防止に努め、自分自身や他人を危険にさらしてはなりません。

基本ルール

注意を怠らず、常に安全を第一とします。

私たちの取るべき行動

- 危険源を認識し、注意深くそして定期的に自分の作業環境を見直します。
- 危険な状況、もう少しで事故になりそうだったこと、またあらゆる種類の事故を報告します。
- 不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。



例

あなたはサービスエンジニアで、お客さまのところでマシンの設置をしています。予期せぬ事態により、搬入に予想以上の時間がかかってしまいました。お客さまはスケジュールの遅れを懸念し、細かい安全規制を守る必要はないから早くするようにとあなたに圧力をかけてきました。

上司にこの状況を伝え、落ち着いて仕事を続けてください。安全規定を一貫して遵守し時間よりも安全を優先してください。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

製品コンプライアンス

製品を市場に送り出す時はいつも高い安全基準に従わなければなりません。これは、製品が本来の目的で使用されたときに安全であり人々の健康、安全、または環境に害を及ぼさないことを保証する唯一の方法です。

基本ルール

製品の安全性に関しては最も厳しい基準を設定しています。最先端技術に基づき、製品とその安全コンセプトを開発しています。世界中の市場で私たちの製品をモニターしています。異常が発生した場合は適切な措置を講じます。

私たちの取るべき行動

- 私たちの製品が危険をもたらす可能性があり、あるいは規則が遵守されていないことに気づいたら対策を講じます。
- 不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。



例

あなたはトルンプアメリカの営業担当で、アメリカの会社にマシンを売りたいと考えています。お客さまはマシンをブラジルで使いたいと考えているが、ブラジルの機械指令に準じないアメリカ式の仕様書と社内規定を参照しています。

このようなやり方は正しくありません。

たとえ合意があっても法規を無視することはできません。ブラジル市場に出されるすべてのマシンは、ブラジル機械指令の適用対象になります。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

個人情報保護

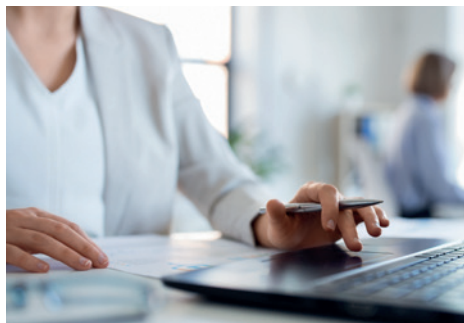
個人情報保護の目的は、個人情報の恣意的な取り扱いから個人を守ることです。個人情報とは、直接または間接的に個人を特定できる情報のことをいいます。個人情報の処理およびその他の利用には、特別な法規制があります。したがって、個人情報の利用は指定目的範囲に限られています。さらに個人情報の使用には、本人の同意または別の法的根拠が必要です。

基本ルール

同僚、取引先およびその他関係者の個人情報を、信頼を裏切らないよう責任を持って取り扱います。個人情報は指定目的のためにのみ使用します。

私たちの取るべき行動

- 個人情報保護に関する規定、また個人情報保護団体の規則を理解します。
- 指定目的以外のために個人情報を使用せず、本人の同意またはその他の法的根拠に基づいて個人情報を処理します。
- 不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF 組織内の担当部署に相談します。



例

自分の部署の同僚全員の出勤システムのデータを閲覧できることに気づきました。

出勤システムも、同僚の名前または個人を特定する情報が含まれているため個人データです。上司または出勤管理者だけしかデータにアクセスできないようにする必要があります。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

機密情報保護

研究開発に多額の費用を投じる技術系企業のTRUMPFは、発明、営業秘密、技術ノウハウの保護が特に大切です。非技術的な情報（例えば販売データや購入価格）も貴重な企業秘密となり得ます。

基本ルール

機密情報は特に慎重に取り扱います。機密情報が権限のない第三者に渡らないようにします。これは取引先からの機密情報についても同じです。特殊な事情で特別な機密保持が必要な場合（例：顧客の開発プロジェクトや企業買収など）同僚にもこの機密を漏らしません。

私たちの取るべき行動？

- TRUMPFおよび取引先の機密情報を慎重に取り扱い、許可なく伝達しません。
- 取引先との既存の機密保持契約を遵守します。
- 機密情報は絶対に知る必要のある人にしか伝えません。
- 公共の場（出張先やソーシャルメディアなど）では特に慎重に機密情報を取り扱いません。

例

お客さまから共同プロジェクトのための機密情報が送られて来ました。お客さまのところに向かう途中、電車でもう一度書類を確認するつもりです。



この機密情報が権限のない人に知られることがないように注意しなくてはなりません。もし第三者に知られると機密保持契約違反になりお客さまとの関係に影響を及ぼします。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティ(情報セキュリティ、ITセキュリティ、製品セキュリティ)の目的は、TRUMPF、取引先、お客さま、従業員への被害を防止することです。情報セキュリティやITセキュリティは私たちの技術システムや情報を保護します。一方、製品セキュリティは私たちの製品をサイバー攻撃やそれによる不具合から保護します。

基本ルール

サイバーセキュリティに高い基準を設定しその基準に従って行動します。TRUMPF、お客さま、取引先、製品や同僚に関する情報は責任を持って取り扱います。業務プロセスおよび製品情報保護の必要性を認識し、適切で技術的および組織的なセキュリティ対策を実施します。

私たちの取るべき行動

- 適用されるサイバーセキュリティガイドラインを熟知し、規定通りに行動します。
- 危険の可能性や安全関連規定違反に気付いた場合、これを阻止し担当者に報告します。
- 製品、システム、アプリケーションの開発において、セキュリティ確保のため最新技術を導入し機密情報を保護するために標準化されたコンポーネントを使用します。
- 不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。

例

あなたはプロジェクトマネージャーとして、業務の一環でクラウドベースのツールを導入しビジネスプロセスを変更することになりました。

このためには、各プロセスのオーナーと情報セキュリティリスク分析を実施する必要があります。技術上また組織上適切な対策を取って下さい。組織上の対策は情報セキュリティコーディネーターに、技術上の対策はIT担当者に、そしてデータ保護対策はデータ保護コーディネーター/マネージャーに相談してください。

職場における心構え： 常に誠実に行動する。

会社資産

設備、製品、サービス、ノウハウなどの有形無形の資産は、事業目標を達成するために不可欠なものです。

基本ルール

TRUMPFの有形無形の資産は責任を持って取り扱います。明確に許可のある場合を除き、TRUMPFの資産を業務以外の目的では使用しません。

私たちの取るべき行動

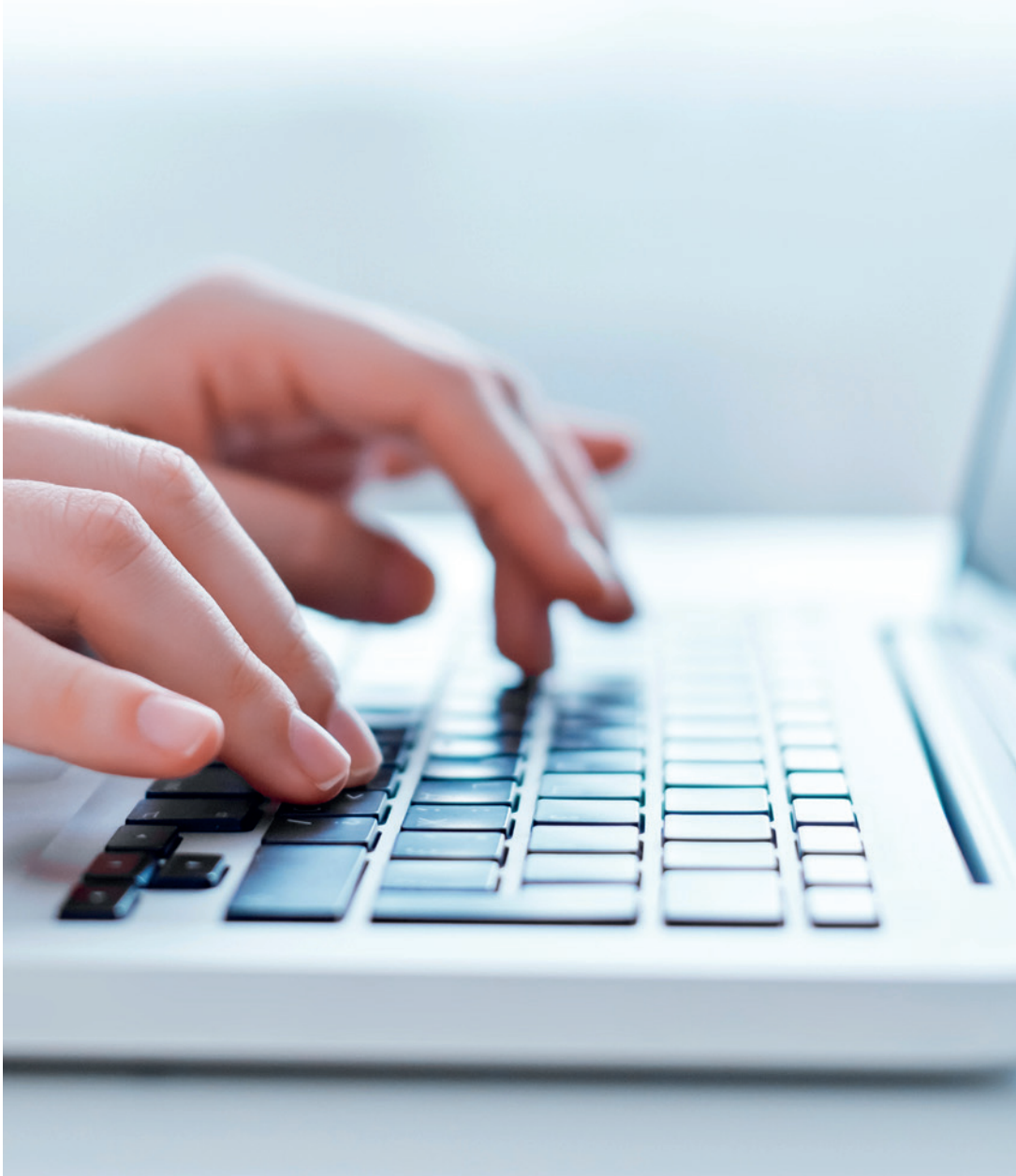
- コストを節約します。
- TRUMPFの財産を大切に扱います。
- リスク及び機会についての徹底的な商業分析に基づいて、ビジネス上の意思決定を行います。
- 不明な点がある場合、上司、または現地法人のコンプライアンス担当者か、TRUMPF組織内の担当部署に相談します。



例

友人が週末に引っ越し予定です。その友人にTRUMPF従業員として社用車を手配し、引越しを手伝って欲しいと頼まれました。

車、事務用品、携帯電話やノートパソコンなどの会社資産は、基本的に業務目的以外には使用しません。ただし、会社の規定で会社資産の私的利用を明確に許可されている場合は例外です。したがって会社資産を私的な目的に使用する前に認可されているかを確認して下さい。



03

行動規範の遵守

違反はどのように報告すればよいですか？	32
報告があったらどうなるのでしょうか？	34
ガイダンス	35

違反はどのように報告すればよいですか？

不正行為、特に法律やTRUMPFの行動規範違反を報告することは、全従業員の利益となるはずで、不正や不祥事の回避や解明に役立ちリスクや損害から自分自身とTRUMPFを守ります。

コンプライアンスメールアドレス

コンプライアンスに関する質問や、違反の疑いがある行為を報告したい場合には以下のメールアドレスにご連絡ください。

compliance@trumpf.com

コンプライアンス違反が疑われる事例の報告や質問は、このメールアドレスを介してコンプライアンスチームに届きます。故意に虚偽の事実または申し立てを行わない限り、通報者または質問者の身元は明かされません。



コンプライアンス違反疑い事例の報告用メールアドレス
compliance@trumpf.com



コンプライアンス違反疑い事例の匿名内部告発システム
<https://trumpf.integrityplatform.org>



もちろん、現地法人のコンプライアンス担当者への連絡も可能です。

匿名での内部告発システム

その他、コンプライアンスに関して匿名での内部告発システムもあります。

<https://trumpf.integrityplatform.org>

このインターネットアドレスから、365日どの時間帯でもどの言語でも、コンプライアンスチームに告発/質問を送信できるコミュニケーションプラットフォームにアクセスできます。このシステムを使うとコンプライアンスチームと報告者/質問者の間の匿名でのコミュニケーションを続行できます。

匿名の内部告発システムは、TRUMPFのサーバーではなく外部プロバイダーの安全なサーバーで運用されています。このシステムは匿名で稼働し、告発や質問は暗号化されて追跡不可能な形でコンプライアンスチームに送信されます。報告者/質問者は希望すれば自分の身元を明らかにできますが、そうでなければその必要はありません。

その他のコミュニケーション オプション

コンプライアンスに関すること(報告や質問)については以下の窓口でも受け付けています。

- 上司
- 各現地法人のコンプライアンス オフィサー (通常はCFO)
- コンプライアンスチーム (グループ法務部)
- チーフコンプライアンスオフィサー

対面でも、電話、Eメールでも問い合わせ可能です (bluenetのコンプライアンスページも参照)。



報告があったらどうなるのでしょうか？

TRUMPFはすべての報告を追跡調査し、必要に応じて適切な措置を講じます。法律やTRUMPF行動規範の違反は容認されず、有罪が証明されれば懲戒処分の対象となります。尚、TRUMPFは内部告発者にはいかなる不利益も与えません。

第三者もTRUMPF行動規範違反行為を報告できます。第三者による報告も法律上可能な限り従業員の報告と同じように扱われます。



ガイダンス

自分の振る舞いが行動規範に沿っているかわからない場合、次の3つを参考にしてください。

直感に耳を傾けてください。

「自分の直感」に従って行動する人は、正しいことをすることが多いものです。したがって自分の直感の良い判断材料になります。

もし明日、あなたの行動が新聞で報道されたらどうしますか？

自分の行動に責任を取る覚悟がありますか？新聞で報道されて嫌な気分になるようなら、その行動を控えるかそれ以上進む前に助言を求めて下さい。そうすれば大抵の場合法律違反を回避できます。

迷ったときは相談を！

疑問がある場合は上司、現地法人のコンプライアンス担当者、またはコンプライアンスチームに躊躇せず相談して下さい。

これらを元に判断すればTRUMPFの行動規範に沿ったものになるでしょう。

TRUMPFは法令を遵守します。

TRUMPF



TRUMPF SE + Co. KG
www.trumpf.com